

拠点2 子どもの生活研究所【保育】

1 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

(1) 運営方針・目標 (再掲)

保育は、『子どもが自発性を発揮し、友達や保育者と意欲的に交流を深める中で築かれる信頼関係と、経験に裏付けられた大きな学びと育ちを大切にし、その人なりの幸せを考える』という受容的交流理論の基本的な考えに基づき行う。

『主体的に行動する子ども』『遅く自分の力を働かせる子ども』『人を思いやる豊かな心を持つ子ども』を育てることを目標とする。

ア すこやか園 (分園を含む)、宇奈根なごやか園、鎌田のびやか園 (分園を含む)、すこやか広場、送迎保育ステーション (以下法人保育部門とする) は、法人の新しい運営体制のもと、協力・協働体制を継続する。

イ 拠点内保育部門の管理者等による会議を定期的に行い、3園の他、法人他拠点・事業所等と相互協力し、経営および運営、人材育成、個々の支援業務 (保育・支援等) の質を高めていくことを目指す。

ウ 法人保育部門は、職層や職種、年代を越えて職員相互に支えあい、育て合う体制を強化し、保育の質向上を目指した人材育成を進めていく。

エ 本年度の支援テーマである『アセスメントを考える』に基づき、「その子らしさ」を正しく理解し、伝えあいながら保育実践を積み重ねていく。

オ 人材育成に関して、育成担当者の負担の分配やその育成を考えていくと同時に、法人キャリアパス体制での人材育成の実をあげるよう努める。

カ 保護者支援は、園と家庭との連携を密に行い「子どもを中心に据え、互いに手を取り合い育てていく」という姿勢を持ち取り組んでいく。

キ 子育て家庭への支援や、近隣の老人施設や学校との世代間交流等、新制度に対応した地域に開かれた保育・支援を積極的に行っていく。

ク 子ども・子育て支援新制度に係る今後の保育体制の進行に注視していく。

ケ 国や都、地方自治体による保育施策に準じ、職員の処遇改善に努めると共に、法人採用係と協働して人材確保に努める。

コ 法人全体での協力協働のもと、全ての保育者・支援者が基本的人権の尊重の徹底が図られるよう努める。

○各園の重点目標 (再掲)

ア すこやか園

園全体で、職員が主体的に業務に関わっていくことを支える体制を作っていく。

職層や職制が本来の機能を果たせるように課題分析から始め、職員がこの仕事の良さや手応えを感じ、同僚と分かち合う気持ちが育つような実効性の高い工夫を見出していく。

イ 宇奈根なごやか園

保育においては、副主任・グループリーダーを担う職員の交代が多い。そのため、リーダーとして主体的に行動できる意志と自覚が育つよう、主任保育士を中心にその役割や業務が学べる機会を積極的に設けていく。また、新入職員も含めて、子どもの発達や特性を知り、その子らしさへの理解が深められるような機会を作っていく。

ウ 鎌田のびやか園

職員に関しては、新保育所保育指針や世田谷区保育の質ガイドラインを満たしたうえで、嬉泉の理念に基づいた保育をアセスメント (利用者理解) から見直し、実践できる職員集団を目指して、職員育成に力を入れていく。

また、鎌田のびやか園における保育の質に繋がる保護者・地域・関係機関との連携を強化していく。

(2) 実施状況

ア 法人執行本部のもと、保育部門3園は、理事長（拠点場長）・園長・副園長・事務主任による保育部門会議を月1回のペースで開催した。これまでは、3園の足並みを揃える等、運営管理面の強化を目的とした情報共有や作業を中心に行っていたが、2020年度は法人における保育ビジョンを考えることを目的として行われた。各自の保育観や価値観を伝え合う中で法人が大事にしてきたことを確認し、会議にて企画した新人研修やリーダー層研修の実施等を通して、保育の課題や育てたい職員像が徐々に明らかとなっていった。次年度も同様の目的で会議を開催すると共に、職層や職種、年代を越えて職員相互の支え合いや育て合いが実現するような人材育成の機会を作っていきたい。

イ 法人の支援テーマである「アセスメントを考える」機会を法人研修や各園にて持った。「その子らしさとは何なのか」「正しく捉えることができているのか」といった保育者としての揺らぎに直面する中で自分達の保育を振り返る、その子らしさを多面的に捉えるには保育者同士のコミュニケーションや連携が欠かせないことを認識する等、保育の見直しや職員集団の形成に必要な事柄への気づきが得られた。引き続き、「その子らしさ」への理解が深められるような保育実践を積み重ねていきたい。

ウ 法人キャリアパス体制に基づいた人材育成については、育成担当者より、ツールがあることで意識的に人材育成に取り組める、研修者に成長の兆しを見出して手応えを感じるという声が徐々に聞かれている。また、育成担当者への過度な負担が軽減されるよう、管理者と連携を図りながら進めている。

エ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関しては、行政と連携しながら行った。4月の緊急事態宣言発令に伴い、保護者に登園自粛を求める縮小保育、ライフラインに欠かせない職業についている家庭のみが利用できる応急保育を経て、9月30日に世田谷区より発出された『新しい日常における保育対応ガイドライン』に則り、各園の状況に応じた環境設定と保育内容の見直しが行われた。徹底した消毒等の感染拡大防止対策実施の他、行事の在り方やこれに代わる新しい機会の提供といった保育の模索を余儀なくされた。保育内容等が確立されたとは言い難いが、次年度以降への足掛かりは得られた。

また、不特定多数の他者との交流を避けることが求められていたため、老人施設や学校との世代間交流や地域に開かれた子育て支援については、実施することが難しかった。

オ 保育に関しては、「子どもが主体性を持って、自発的・意欲的に友達や保育者と関わることを進めると共に、相互の信頼関係を土台として、様々な体験を積み重ね学び合う」という受容的交流理論に基づいた保育を行った。

乳児期の子どもには保育者や保護者との愛着関係を基盤とし、一人一人の発達過程や心身の状態に応じた適切な援助及び環境を整えた。3歳児以上の幼児には、日々の活動等を通して考える機会が持てるようにし、自発的に遊びが展開するよう促した。また、5領域の教育的取り組みを設定し、それに対応する関わりを行った。特に5歳児クラスの子どもには、仲間関係が広がり社会性の発達が促されるよう関わった。

感染拡大防止対策により、三密を避けての保育が求められていたが、愛着関係の形成や社会性の発達において避けられない部分もあり、葛藤しながらの保育となった。

カ 保護者支援については、感染拡大防止対策により、多人数で行う会合や行事を通して実施することが難しくなった。緊急事態宣言中には、要配慮・要支援家庭を中心に電話相談にて相談対応を行い、日常的には連絡帳や通信といった書面にて子どもの姿を保護者と共有することが多かった。園内への保護者の立ち入りが可能な時期には、送迎や個人面談といった機会を捉えて子育ての苦労を共有し、相談対応を行った。

キ 保育に携わる職員が利用している宿舍借上支援制度等、国や都、区の方針がなかなか示されず、採用活動において影響を与える部分があった。世田谷区民間保育園連盟等の機関と連動しながら、今後も改善を求めていく。

また、新型コロナウイルスに罹患するリスクがある中で、地方に住む家族に会えない状況の中で仕事を続けることは難しいといった理由から、退職者が多く出た。エッセンシャルワ

一カーとしての使命感を持ち続けることは難しいかもしれないが、仕事への意義が見出せるように、心のケアにつながるように、日常的なコミュニケーションを図るといった取り組みを行っていきたい。

○各園の実施状況

ア すこやか園

業務全般における意味や意義を考える「ていねいな保育」をスローガンに掲げ、職員同士で気付き合いながら進めた結果、職員が主体となって業務を進めていく場面が増えてきている。

保育部門会議で話し合わせ、確かめ合った「法人の大事にしていること」の内容を基に、全職員に向けた「職員の皆様へ」を配信し、常勤非常勤を交えた小グループで話し合う会を年2回行った。職員一人ひとりが法人の考えに触れながら、保育実践を振り返るいい機会となった。また、グループリーダー職員を対象とした「共同作業」の中でのコミュニケーション研修と「サイコドラマ」を用いた研修を行い、意味や意図を共有し合うコミュニケーションの必要性に気付く職員が出てきている。次年度も引き続き「ていねいな保育」と保育部門会議で共有し確かめ合った内容を、職員一人ひとりまで届けることで、職員がこの仕事の良さや手ごたえを感じながら業務に当たれるように工夫していきたい。

イ 宇奈根なごやか園

グループリーダーを担う職員を対象としたリーダー層研修を年2回実施した。日頃感じている悩みや課題を共有したことで横の繋がりが生まれ、互いに助け合いながら業務を進めていく姿が見られるようになった。また、主任保育士等と協力して、担当グループを中心としたマネジメント業務を行い、これを通して保育全体の動きに目を向ける機会を持つことができた。次年度は別の職層でも研修を行いたい。

また、年度後半に回数は少ないが、個別支援検討会を実施した。コロナ禍による影響の中、子どもの姿から見える事柄についてじっくり話をする機会が少なくなったこと、話することで法人の支援テーマに結びついていくことをねらいとした。職員が話し合いたいテーマを設定し、管理職が参加する中で、子どもへの理解を深められるような機会を持つことができた。次年度も継続していきたい。

ウ 鎌田のびやか園

保育の質の向上を目的とし、法人が掲げる「アセスメントを考える」という支援テーマを基に人材育成の在り方を検討すると共に、新たな取り組み（15分ミーティング等）を進めていった。その中で、職員間の共通認識や共通言語によるコミュニケーションが図られるようになり、保育実践を深めるための基盤が作られた。

また、保護者・地域・関係機関との連携に関しては、一事業体で完結することが難しい事案等について、法人の機能を活用し対応していくことで連携を円滑に進めることができた。

2 月間・年間行事等実施状況（※別紙の通り）

その他、生活習慣病予防健診・定期健診の実施状況（3園合計人数）

- ・生活習慣病予防健診 54名
- ・定期健診A 64名 合計118名

3 職員体制（※組織図を添付）

4. 職員研修

1) 外部研修

日程	研修名	開催場所	参加者	
8/20	キャリアアップ マネジメント	昭和女子大	1	名
8/21	キャリアアップ マネジメント	昭和女子大	1	名
8/22	キャリアアップ マネジメント	昭和女子大	1	名
9/22～29	遊びの中の重要性	オンライン研修	2	名
9/25	自然災害・感染症に対する保育所の危機管理	オンライン研修	1	名
10/8	キャリアアップ マネジメント	こくほ21ビル	1	名
10/13	キャリアアップ マネジメント	こくほ21ビル	1	名
10/21	キャリアアップ マネジメント	こくほ21ビル	1	名
10/26	食物アレルギーの最新情報と対応	オンライン研修	1	名
10/27, 29	防火管理者新規講習	東京都消防庁消防技術試験教習場	1	名
10/31	成人期の発達障害のある人たちの育ちとその背景について	ワйм貸会議室	1	名
11/4	成人期の発達障害者への支援力向上研修	ワйм貸会議室	1	名
11/16	成人期の発達障害者への支援力向上研修	ワйм貸会議室	1	名
11/13	保育所等における保育の質の確保・向上セミナー	オンライン研修	1	名
11/20	保育所保育指針実践セミナー ・保育所保育指針及び解説を踏まえたこれからの保育・幼児教育 ・保育所保育指針を踏まえた保育所運営・保育実践	オンライン研修	1	名
11/22	子どもの育ちに学ぶゼロ・1・2歳児の発達と保育～子どもの感じる世界を理解し、一人ひとりの「今」をたっぷりと味わうために～	オンライン研修	1	名
11/28	大妻女子大学実習関係者との連絡会について	オンライン研修	1	名
12/2	子どもの咀嚼と嚥下について	オンライン研修	1	名
12/4	キャリアアップ マネジメント	ワйм貸会議室	1	名
12/8	噛むこと・食べる機能を知る	オンライン研修	1	名
12/11	キャリアアップ マネジメント	ワйм貸会議室	1	名
12/18	授乳・離乳食支援ガイドラインの理解と子育て支援	オンライン研修	2	名
12/22	キャリアアップ マネジメント	ワйм貸会議室	1	名
12/23	保育所保育要録	ズーム研修	1	名
1/22, 29, 2/5	保育所等における事故予防セミナー	オンライン研修	2	名
1/28	保育所における食育の在り方	オンライン研修	2	名
2/3	東社協保育部会給食担当講習会	オンライン研修	1	名
2/9	新型コロナウイルスと子どもたちの生活	オンライン研修	1	名
2/12, 19, 26	保育所等における働きやすい職場づくりセミナー	オンライン研修	2	名
2/20	小規模法人の財務会計に関する事務処理体制強化研修	オンライン研修	1	名
2/24	乳児期の食行動の発達と偏食	オンライン研修	1	名
3/5, 他	施設長のための社会福祉法人会計入門	オンライン研修	3	名

2) 内部研修

日程	研修名	開催場所	参加者	
4/1	防災教育	鎌田のびやか園本園	3	名
4/1	新人・異動者オリエンテーション	宇奈根なごやか園	4	名
4/20	防災教育	鎌田のびやか園本園	1	名
5/10～30	感染症対策、熱中症対策講習	宇奈根なごやか園	25	名
5/10～30	防災教育	宇奈根なごやか園	18	名
6/10～17	エビペン講習	鎌田のびやか園本園	29	名
6/30～ 7/6	熱中症講習、嘔吐処理講習	すこやか園ゾウ	14	名
7/6～10	熱中症勉強会	鎌田のびやか園本園	25	名
7/13～17	熱中症講習、嘔吐処理講習	すこやか園分園キリン	17	名
7/13	おんぶ講習	すこやか園ゾウ	5	名
7/14～16	応急手当講習	すこやか園ゾウ	14	名
7/27～31	心肺蘇生勉強会	鎌田のびやか園本園	26	名
8/3～5	救命講習	すこやか園ゾウ	13	名
8/3～5	救命講習	すこやか園分園キリン	10	名
8/11, 12, 13, 18, 20, 9/3	勉強会「子どもの発達について考える」	すこやか園本園ゾウ すこやか園分園キリン	29	名
8/24	防災教育	鎌田のびやか園本園	22	名
8/24	事故報告書集計掲示周知	鎌田のびやか園本園	22	名
8/24	怪我の対応について	鎌田のびやか園本園	22	名
8/27～28	誤薬事故事例検討会	宇奈根なごやか園	28	名
9/19	階層別研修「リーダー研修①」	すこやか園本園ゾウ すこやか園分園キリン	11	名
9/19	階層別研修「リーダー研修①」	宇奈根なごやか園	8	名
9/19	階層別研修「リーダー研修①」	鎌田のびやか園本園	5	名
9/28	事故報告書集計掲示周知	鎌田のびやか園本園	23	名
9/28	対応基準チェックシート実施	鎌田のびやか園本園	23	名
10/28～ 29	対応基準チェックシート実施	宇奈根なごやか園	16	名
10/1, 8, 9, 12, 14, 20, 26	勉強会「～遊びについて考える～」	すこやか園本園ゾウ すこやか園分園キリン	29	名
10/26	事故報告書集計掲示周知	鎌田のびやか園本園	19	名
10/26	午睡・食事の安全について	鎌田のびやか園本園	19	名
11/2	手洗い指導	すこやか園本園ゾウ すこやか園分園キリン	9	名
11/4	手洗い指導	すこやか園本園ゾウ すこやか園分園キリン	5	名
11/7	階層別研修「サブリーダー研修」	すこやか園本園ゾウ すこやか園分園キリン	10	名
11/24	対応基準チェックシート集計実施	鎌田のびやか園本園	37	名
11/25, 27	エビペン講習	すこやか園ゾウ	14	名
11/26～ 12/4	感染症対策	宇奈根なごやか園	28	名

12/5	階層別研修「リーダー研修②」	すこやか園本園ゾウ すこやか園分園キリン	11	名
12/5	階層別研修「リーダー研修②」	宇奈根なごやか園	7	名
12/10～ 15	嘔吐処理講習	すこやか園本園ゾウ すこやか園分園キリン	14	名
12/14～ 23	嘔吐処理講習	宇奈根なごやか園	28	名
1/13, 14, 21	嘔吐処理講習	鎌田のびやか園本園	12	名
1/26	操作訓練職員向けフィードバック	鎌田のびやか園本園	37	名
2/8	リーダー研修②	鎌田のびやか園本園	5	名
3/15	リーダー研修③	鎌田のびやか園本園	5	名

5 実習生等の受け入れ（3園合計人数）

(1) 見学者（入園希望者）	176名
(2) 夏季アルバイト（学生）	2名
(3) ボランティア（学生）	0名
(4) 職場体験（学生）	7名
(5) 実習生	総数 7名
・東京都市大学	1名
・大妻女子大学	2名
・東京未来大学	0名
・相模女子大学	0名
・洗足こども短期大学	2名
・東京保育専門学校	1名
・目白大学	1名

6 その他（建物改修、設備・備品等購入等）

- (1) すこやか園
 - ・園庭万年堀撤去
 - ・1階手洗い場移設水道工事
 - ・ノートパソコン購入
- (2) 宇奈根なごやか園
 - ・テラス屋根及び厨房配管の補修工事
 - ・カメラ付インターホンの増設工事
 - ・園児用椅子の購入
 - ・消毒保管庫、大型空気清浄機の購入
- (3) 鎌田のびやか園
 - ・なし

別紙（事業報告書関係）

年間行事等実施状況

	行事						会議等(外部)		会議等(内部)		
	日	内容(すこやか)	日	内容(なごやか)	日	内容(のびやか)	日	内容	日	内容	
4月	1	入園リエンテーション(新入園児.保護者)		入園リエンテーション(3月に実施)	1	入園の集い(新入園児.保護者)	3	世田谷区園長会→中止	16	クローバー会議	
5月							1	世田谷区園長会→中止	28	クローバー会議	
6月							1	世田谷区園長会→中止	26	法人園長会	
									3	保育部門会議	
7月	7	七夕(全園児)	7	七夕→各G活動にて実施	7	七夕→各G活動にて実施	29	世田谷区園長会→中止	2	クローバー会議	
									8	保育部門会議	
8月									5	保育部門会議(+26日)	
									20	クローバー会議	
9月			1	引継ぎ訓練(全園児対象)			9	世田谷区園長会→中止	16	保育部門会議	
									17	クローバー会議	
10月	7	稲刈り(ゾウ5歳児)	3	なごやか広場(4.5歳児.保護者) →G単位、入替制	7	稲刈り(5歳)	5	世田谷区園長会→中止	28	保育部門会議	
									22	クローバー会議	
									21	法人園長会	
11月	5	よろこびたのしみ遊園地 (ゾウ1.2歳児)	12	遠足(4歳児)			2	世田谷区園長会→中止	25	保育部門会議	
	17	野川公園(キリン5歳児)							19	クローバー会議	
12月	23	クリスマス会(全園児)	18	クリスマス会→各G活動にて実施	25	クリスマス会→各G活動にて実施	7	世田谷区園長会→中止	24	クローバー会議	
									23	法人園長会	
1月	15	みて!風の子会(3.4.5歳児)(キリン)					5	世田谷区園長会→中止	13	保育部門会議	
									28	クローバー会議	
2月	3	節分(全園児)	2	節分→各G活動にて実施	1	節分→各G活動にて実施	1	世田谷区園長会→中止	10	保育部門会議(+24日)	
									25	クローバー会議	
3月	3	卒園式(5歳児)	3	ひな祭り→各G活動にて実施	1	ひな祭り→各G活動にて実施	3	世田谷区園長会→中止	18	クローバー会議	
	23	キリンお別れ遠足(3.4.5)	6	卒園式(5歳児)	6	卒園式(本園)			10	保育部門会議(+24日)	
			16	お別れ遠足(5歳児)		進級式(分園)→各G活動にて実施			17	法人園長会	
			18	遠足(3歳児)		進級式(本園)→各G活動にて実施					
備考	※誕生会、身体測定、避難訓練(月1回) ※乳児健診(月2回) ※全園児健診(年2回)						※職員・厨房・離乳食会議(各月1回)				

※要保護支援砦地域協議会…例年、年2回実施されるが、2020年度は中止となった。書面での周知が行われた。※砦地域園長会は、感染拡大防止の観点から参加は任意となった。年度後半、ZOOM開催あり。

事業拠点組織図(子どもの生活研究所[療育・保育])



